



新型コロナウイルス感染症流行と白十字ホーム

白十字ホーム ホーム長 西岡 修

ようやく猛暑の夏が終わり、一気に秋の気配が深まってきました。

年初からの新型コロナウイルス感染症によって、月日が経つのが早く感じられます。ご家族、ホームの利用者の皆様、職員にとっては、不安、緊張が続き、マスク、手洗い、外出自粛といった予防対策で毎日が過ぎていくことも影響しているようです。

白十字ホームでは、2月下旬に国の通知により、面会者の制限（実質禁止）、外来者（特にボランティア）の出入りの制限を実施し現在に至っています。ご家族やボランティアの方たちからお問い合わせをいただくのですが、この制限措置は、当面継続しなければならない状況です。

この間、利用者が発熱されると、併設の東京白十字病院の医師の判断でPCR検査を実施し、念のため感染対応措置をとるなど、発熱された利用者のご家族には心配をおかけしています。現在まで陽性感染者はおられません。今後も同様に白十字病院と連携して感染予防、早期発見、早期対応により万一の場合の感染対策に努めてまいります。

3月中旬からLINEテレビを利用した遠隔面会をスタート、5月中旬からは窓越し面会を始めました。ガラスを隔てた隔靴搔痒なところがある面会ですが、ほぼ毎日数組の面会が行われ、定着してきています。お看取りの方については、個別の状況に応じて対応をさせていただいています。また家族会には、物品等のご支援、特にマスク不足時には、1500枚を超える手作りマスクに取り組んでいただき、ホームのみならず地域への支援をいただきました。深く感謝を申し上げます。

半年あまりが過ぎて、感染症の病態や経過などが大分明らかになってきています。ワクチン開発や治療法、有効な薬なども進んできています。しかし経済のための自粛緩和、インフルエンザとの同時流行など、秋冬に向けて懸念されることが新たに出てきて、以前とは異なる不安や緊張が生じています。いろいろわからないことが多くご心配と存じます、お問い合わせ、ご意見など、どうぞご遠慮なく相談員はじめ職員にご相談をいただきたいと思います。

白十字ホームでは、これまでの経験や医師、関係機関の知見や指導に基づいて、積極的な感染予防対策に取り組んでまいります。ご家族におかれましても、当分の間ご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解、お力添えをお願いいたします。

